

港湾空間の海面処分場が、 大都市の廃棄物処理を担う

とうきょう file01 東京港

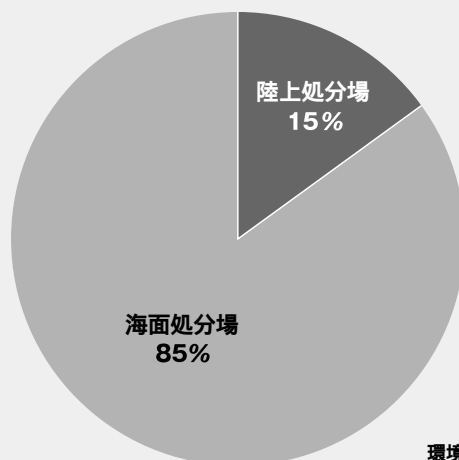
対象施設 中央防波堤地区新海面処分場
供用 平成9年より受入を開始

大都市圏では内陸部での廃棄物最終処分場の確保は非常に困難な状況であり、港湾空間の海面処分場が廃棄物処理において担う役割は年々重要となっている。

東京港では新海面処分場を平成8年度より工事に着手し、平成9年に一部概成し廃棄物の受入を開始している。平成15年度までに約177万m³の一般廃棄物を受け入れており、東京都の廃棄物処理に貢献している。



●東京都での一般廃棄物における海面処分場のシェア (H13)



環境省資料より国土交通省港湾局作成

第2部
個別港湾事例

●新海面処分場



写真提供：東京都港湾局